

学力向上

毛呂山プラン



令和2年度 毛呂山町教育委員会 毛呂山町学力向上対策委員会

1 目 標

児童生徒の確かな学力の定着

2 研究テーマ

小中9年間の一貫した指導による主体的に学ぶ児童・生徒の育成

①教師の授業力の向上

②児童・生徒の学習環境の整備

③家庭・地域との連携強化

【今年度の重点課題】

・授業研究会を中心とした研修の充実による授業力の向上 【重点】

【重点課題にせまる手立て】

①学習過程を明確にした授業づくり	学力向上毛呂山プラン	P9	I 3-3 (2)
②個に応じたきめ細かい指導の充実	学力向上毛呂山プラン	P16	II
③基礎学力の重点指導の実施	学力向上毛呂山プラン	P17	III

【なぜ、県の学力・学習状況調査で検証するの?】

さまざまな調査がありますが、

- ①県の学力・学習状況調査は、児童・生徒の伸びを見とることができます。各学校間の差、地域間の差は関係ありません。また、個人の伸びですので、学力差に関わらず、一人一人を評価することができます。
- ②教員、県の学力・学習状況調査の結果をもとに、授業を見返し、授業力の向上にもつながります。

①1 時間の授業のながれ

授業に一定の型があることで、単元が変わっても、学年が変わっても学習の流れそのものはいつもと変わらないため児童生徒は見通しをもって取り組みやすく、安心して活動することができます。

段階	学習プロセス	授業づくりハンドブック（国語編）	指導上の留意点
授業前 挨拶		○机の上に学習用具 ○大きな声であいさつ ○口の体操	あいさつで気持ちの切り替え ・全員でそろえて大きな声であいさつ ・教師は児童のようすを見守った後でおじぎ
導入	①学習課題の提示	ポイント① 学習掲示を活用した想起 ・前時までの学習の振り返り	前時までの学習の振り返り ・授業で用いた拡大資料等をそのまま教室掲示として活用
展開	②解決の見通し	ポイント② めあてとまとめの板書 ・本時のめあてを板書 ・学習場面の音読	本時のめあてを明確に ・児童がとらえやすい言葉で ・解決の見通し…子どもの発言を拾いながら ・大まかな解決への見取り図をイメージさせる
	③自力解決 TT・少人数指導等	(1) 自分で ・サイドラインを引く・キーワードを四角で囲む ・教科書に書き込む・叙述を書き抜く ・理由と結論、原因と結果を関係づける ・考えをまとめる	自力で解決する場面を ①児童の実態に合わせた適切な時間を確保 ②発問の言葉を工夫 ③既習事項を活用
	④協働解決 個人カルテを活用した指導・支援を！	(2) ペア、グループで ポイント③ 少人数で意見交流 ・自分の考えを伝え合う ・考えのもととなる叙述を伝え合う	小集団で伝え合う活動 ①安心して話し合うための雰囲気づくり ②学習の定着度の異なるグループ編制 ③話し方や聞き方などの指導
	⑤一斉検証 振り返りの項目を追加しました	(3) みんなで ・少人数の交流で出された意見を発表する ・共通の考えや人によって違う考えを出し合う ・出された意見を比べ合う (4) 自分で ・話し合いを生かして、自分の考えをまとめる	一人一人が仲間と課題を共有しかかわりあうことで自らの学びを深め、自らの変容を実感することが重要！
		☆評価 ・本時の目標に到達するためには、どんな支援が必要か。	シンプルで具体的な評価を 児童一人一人の到達度を見極めるために、わかりやすい評価規準を設定しましょう。また、本時の目標に到達
	⑥まとめ	学習のまとめ	子どもの言葉で授業のまとめ ・児童から出された言葉を使って ・課題に正対したまとめとなるように
	⑦振り返り	振り返り	子ども自身の言葉で振り返り ・身に付いた力を確認できるように
授業後 挨拶		○大きな声であいさつ ○次時の学習用具の準備	次時の準備を習慣化

☆必ず、毎時間、どの教科でも、授業の「まとめ」と「振り返り」を！

②板書の仕方、ノート指導について

板書の仕方、ノート指導についての共通の約束を決めましょう！



板書例

枠の線の色は、子どものノートと同じにする。

課題(めあて)と正対したまとめを。子どもの言葉でまとめる。

5/12(木)	問題		考え		まとめ	〇〇の計算は.....できる。
	式				練習	①〇+△=□ ②〇+◇=□ ③〇+◇=□ ④〇+△=□
	課題	〇〇の計算の仕方を考えよう。			ふりかえり	
	見通し	〇〇でとく				

ノート例

算数ノートの取り方

学習の「復習上手」になろう！

- 書き写すことに集中するだけ、きれいに書くことだけではいけません。
- 自分で考え、振り返りしやすいように工夫して書けるようになろう。

◎「復習上手」になるために

- マスの中に、大きく!!はっきりと！
 - 文字をそろえて書くこと見やすいノートになります。
- 日付・タイトルを書こう。
- 見出しを書こう。

問題→① 課題→② 見通し→③ 自分の考え→④
友達の考え→⑤ まとめ→⑥
- 問題を解いたときは「ページ番号」「問題番号」を必ず書こう。
 - 番号を書けば、自分で復習するときや答え合わせをするときに見つけやすいです。
- ノートはゆったりと！
 - まとまりごとに、1行あけて書きましょう。
 - 日付が変わるときは、2行くらい空けるようにしましょう。
 - 友達の考えのよいものや、ポイントなども書けるようになるとよいですね。
 - (自分で復習するとき、ポイントを書き加えられるとよいです)
- 線を引くときには、じょうぎを使いましょう。

も(問題)→黒で囲む。 か(課題)・ま(まとめ)→赤で囲む。

5/16	5	〈 〇 〇 〇 の た し 算 〉						
P.21								
も		いちごが20こあります。このいちごを.....						
		式 20 + 〇 = 〇		答え 〇 こ				
ま		計算の仕方を考えよう。						
見	でとく。						
考		図 数直線 など						
		区、数直線、式など.....						
ま		〇〇〇の計算は.....						
	できる。						
練	①	〇 + △ = □	②	〇 + ◇ = □				
P.22	③	〇 + ◇ = □	④	〇 + △ = □				

赤でかこむ。

授業が成り立つ上で大切なことは、学級経営です！！

学級経営がうまくいっているクラスは、授業の中で、子供達が自分自身と向き合い、教材と向き合っています。また、先生の話の聴き、友達の話の聴き、自分の意見も安心して言うことができます。その結果、子供達が主体的・協働的な深い学びを実践することができるのです！！